



AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行・横浜スペイン協会事務局 鎌倉市大船 1709-18 FAX 0467-44-5876

“新年おめでとうございます”



平成26年の年頭に当たり、横浜スペイン協会への日頃のご支援とご協力に感謝申し上げますとともに、今年一年が皆さま方にとりまして希望に満ちた年となりますよう祈念申し上げます。当協会は今年で創立24年目を迎えます。どの組織にとりましても創立20年目が一つの節目と言われております。それは創立時の会員の高齢化と、時代の変化が大体20年くらい経過すると一つの変換点に至るからでしょう。私共の組織も例外ではありませんでした。この難しい時期を、理事・会員が丸となって何とか乗り越えてまいりました。横浜スペイン協会は、スペイン文化に関心を持つ個人会員によるまったくのボランティア組織ですが、このことが弱みでもあり、また強みでもあります。

会員の高齢化といった自然の成り行きにも、また社会的な不況・好況と言った経済的な環境にも大きく左右されずに柔軟に対応できて来られたと感じております。

会員の数も一時的に減少しましたが、現在ではまた新しい会員の入会が続いております。

さらには、スペイン語の勉強をする方も増えてきており、会員への潜在力ともなっております。特に昨年からの今年の7月までの一年は日本とスペインの交流400年の記念の年であり、協会の活動として記念の年にふさわしい企画を考え、実行し、また楽しんでおりますが、さらに民間レベルでのスペイン・日本の双方向の交流の機会を増やしたいと思います。

既に会報「AIYES 通信」は会員により自主編集が昨年度から始まりやっと軌道に乗りかけてきました。今年の年初からは、永年の課題であった協会のホームページの切り替えもはじまり、より明瞭な構成と編集の簡素化で経費の削減も大きく可能となるはずです。現在は様々な通信メディア時代となりました。協会のホームページもより気楽に情報や案内・記録等が配信されるように変えていきたいと思っております。

今年は2年ごとの協会理事の改選の年でもあります。以上のようにいくつかの活動も移行の段階にありますので、ぜひ会員の中からボランティアとしてそれぞれの担当理事としての活動を実行して下さる方を募集しております。

協会としては、駐日スペイン大使館はじめスペイン関連の国内機関とのコミュニケーションは大切に維持していきたいと思っております。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

横浜スペイン協会
会長 山崎宗城

日本・スペイン両国大使 巡礼道を歩く

日西交流400周年記念の催し

駐スペイン国佐藤悟大使は去る10月23日モリセナカ町にあるラス・アングスティア教会で多くの関係者の出迎えを受けた。この中にはモリセナカ町長アルフォンソ・アリアス氏、レオン県知事イサベル・カラスコ氏、スペイン国政府代表ファン・カルロス・スアレス・キニョネス氏、カスティージャ・レオン州代表ギジェルモ・アリアス氏、国立エネルギー研究所メルチョール・ルイス氏、カスティージャ・レオン州観光局長ハビエル・ラミレス氏、ガリシア州シャコベオ理事長ホセ・パス氏、その他多数の県会議員、市町村長が含まれる。

佐藤大使と関係者たちはモリセナカ巡礼宿までのサンティアゴ巡礼路1.5キロを共に歩いたのち、巡礼宿で記念碑の除幕式を行い、5本の桜の木の植樹を行った。桜の花は日本文化の象徴として知られている。植樹の後、伝統的な巡礼者のガウンと帽子を身に着けた。佐藤大使は日本の巡礼路とサンティアゴの巡礼路は「友愛の巡礼路である」「宗教的、文化的背景は異なるが、自身の中に真実を求め自然の中で自省しながら前進するという精神において共通するものがある。」と述べた。モリセナカ町訪問の後、佐藤大使はラス・メドウラス金鉱跡（世界遺産）と国立エネルギー研究所（CIUDEN）の使節を訪問した。

モリセナカ巡礼宿にて伝統的な巡礼者の衣装を着る佐藤大使

モリセナカ町入口にかかる中世橋を渡る佐藤大使と県知事



* * * * *

駐日スペイン国ミゲル・アンヘル・ナバロ・ポルテラ大使ご夫妻は去る10月31日愛媛県久万高原町東明神を起点に三坂峠から3キロの山道を白装束に身を包み、すげ笠姿で、中村時広愛媛県知事や野志克仁松山市長ら約35人と午前9時過ぎに出発。四国霊場会公認先達の木下昭三さんの案内で、鈴を鳴らしながら山を下り、同市窪野町の旧遍路宿「坂本屋」で地元住民から草餅とお茶のお接待を受け休憩後、46番札所の浄瑠璃寺を参詣した。三坂峠から坂本屋までの遍路道には江戸時代に遍路の途中で行き倒れとなったお遍路さんの墓や石仏等が点在しており、さらに浄瑠璃寺までの遍路道は日本の田舎の原風景が残る美しい秋の風景であった。大使は世界遺産に登録されている「サンティアゴ・デ・コンポステラ」巡礼路の景色や雰囲気と重ね合わせながら「昔ながらの自然や世界観が損なわれずに残り、素晴らしい」と感嘆。「四国とスペインの巡礼路を通して両国の交流を深めたい」と意欲を見せた。横浜スペイン協会の会員で「スペイン交流コーディネーター」の間屋正勝氏の提案で横浜スペイン協会から山崎会長他5名の会員が参加し、大使と行動を共にした。（山崎宗城）



松山市道後「大和屋本店」で開かれた「駐日スペイン大使歓迎レセプション」 お遍路出発前に三坂峠にて全員で記念撮影

●スペイン語クラス

当協会には7つのスペイン語クラスがあります。今までに「クラベル」「スペイン語で新聞・雑誌を読む会」の2クラスを紹介しました。今回は、「アマポーラ・クラス」を紹介します。

「アマポーラ クラス」

- 1) 開講日：月曜日（月3回）10：30～12：00
- 2) 担当講師：山田 るり子先生
- 3) 現在生徒数 12名（女性9名、男性3名）
- 4) 講座内容：現在時制の仕上げとして仮想スペイントラベルプランニングや副読本を使い、語彙力や、表現力の充実を目指しています。

（教科書：Entre amigos 副読本：Lola Lago シリーズ（Vacaciones al sol）

講師の山田るり子先生は大変活動的な方で、国内外、多方面で活動されて居られます。そのような中、私たちの単純な質問にも、丁寧に明快な解説をして下さいます。特に日本語とスペイン語の文章の構成の違いや組み立て方をわかりやすく教えて頂いています。

受講者も非常に熱心で時には、授業が熱を帯びてくると時間の経つのも忘れるほどです。受講生のスペイン語力は、山あり谷ありを繰り返しながらも、少しずつ着実に上達しています。特に今年はクラスの多くの方がスペインや海外に旅行し、多くの体験談をお土産に持って帰ってくれましたので大いに刺激を受けますます学習意欲が上っています。これからもさらにスペインを知りスペイン語を話し、クラスの仲間と共にスペインを深く理解することを目指して行きます。（武菱邦夫クラス委員）



<アマポーラ・クラス>山田るり子先生と受講者の皆さん

旅好きで活動的なメンバーが揃い、この秋はふたりがマラガでのホームステイを経験しました。ひとは世界一周の船旅中です。そして壮行会やら歓迎会やら、何かと理由を作っては、みんなで横浜中華街へ！ とびきりの中華料理をいただきながら、腹がよじれるほど笑い、気持ちよ〜く帰宅します。入門クラスとして、これまでは文法学

習に重点を置いてきましたが、日本人講師が展開する効果的な会話練習方法を日々考えています。トラベルプランニングによる会話練習では、最初は恐る恐るスペイン語を口にしていましたが、ここへきて急に盛り上がってきました。旅程が完成したら、旅の場面に応じたロールプレイングを行います。スペイン語にご興味のある方も、サザエさん症候群で月曜の朝が憂鬱な方も、ぜひ見学にいらしてください。(講師：山田るり子)

●スペイン語クラス委員会主催特別講演会のご案内

- 1) 特別講演の演題 : 「嬉し、楽しボランティア・ガイド」
- 2) 開催日時 : 2014年1月29日(水) 13:15~2時間
- 3) 場所 : 神奈川県民サポートセンター 604教室
- 4) 講師 : 渡邊昭夫氏(横浜スペイン協会会員)
- 5) 講演の内容 : 日本を訪れるスペイン語圏からの旅行者を東京、横浜、鎌倉等へボランティア・ガイドとして案内されている講師の体験談をご披露頂きます。

*当特別講演会にはまだ多少席の空きがあります。

講演会についてのお問合せは、福長宛にお願いいたします。

E-mail: akkyo-106@jcom.home.ne.jp

●11月のスペイン・サロン

「スペイン料理を作って食べる会」に参加して

今年で3回目、毎年11月には丸山久美先生にスペイン料理のご指導をいただいています。テレビや新聞や数多くの本を出しておられる一流の先生に、直接ご指導いただけるのは貴重な体験です。今回の会場は横浜技能文化センターで、11月23日(土)の午後に開催されました。

先生はとても気さくで笑顔とサービス精神いっぱい、毎回沢山のメニューを用意して下さいます。今回も本格的なスープのとり方から始まり、「サーモンとアスパラガスのピンチョス」、「カタルーニャ風ほうれん草の炒めもの」、「ドライフルーツのコンポート」、そしておまけの「白いんげん豆と粟、豚肉の煮こみ」。5~6名のグループ4組で和気あいあい作った料理を



上手に盛り付け、別室で立派な試食会。本格スープで出来上がったパエリアはやさしい味わいで、美味しい料理の前には笑顔が一杯。ワインも沢山、幸せのひとときです。

でも、この楽しみはいつもながらの役員の方々の準備から後片付けまでの大変なご苦勞のおかげと感謝、感謝です。来年も是非参加させていただきたく、元気で過ごしたいと思います。

iMuchísimas gracias! (渡邊 美枝子)

● シネマ・サロン

「ふたりのアトリエ」～ある彫刻家とモデル—EL Artista La Modelo

2012年、スペイン映画。Fernando Trueba 監督、フランス語・スペイン語

「ベルエポック」で知られている監督が、黒白シネマスコープの画面を効果的に使う。月光の輝き、陽光にきらめく木々や若い女性を映し出す映像がすばらしく美しい。

フランスの彫刻家アリスティド・マイヨールの晩年からインスパイアされて描かれたと言われているが、映画の最後に彼の代表作「地中海」の石膏像が出来上がります（これを石工が大理石に移す—“コピーする”過程がこの後にある—このことを「星を取る」と作中で主人公が言っていた）が、この石膏像の白さが特に美しい。

1943年夏、ドイツ占領下の南フランスのスペイン国境に近いある村。生きる希望をなくしていた彫刻家（ジャン・ロシュフォール）がフランコ政権下の収容所から逃げてきた美しく野性的な娘（アイダ・フォルチ）をモデルとして雇う。若いころモデルを務めた彼の妻（クラウディア・カルディナーレ）が街で見かけた彼女をモデルにと勧めたのだが、静かで美しい自然の中や光が差し込む山小屋のアトリエでひたすらスケッチを続け、小さい像をいくつも造り、さまざまな姿勢の試作を繰り返す彫刻家がだんだんと制作意欲を取り戻して行く。田舎育ちの娘も、レンブラントのスケッチについて語られたり、独創的な芸術論やアダムとイブを引き合いに出しての天地創造論を聞かされて、芸術に興味を持つようになり人生観も変わっていく。山小屋を訪れる美術史家のドイツ軍将校、逃げ込んできて匿ってくれるよう頼むスペイン人のレジスタンスの若者、モデルの娘をやさしく見守るお手伝いさん（チウス・ランブレアベ：アルモドバル映画の常連のおばあさん女優）、墓石も造る石工のおじさん、のぞきに來る子供たちなど脇役の存在感も重層的な意味を持って描かれる。



戦争が終わり、石膏像が完成し、娘はマチスへの紹介状と自転車、いくらかの謝礼をもらって去って行く。彫刻家は石膏像を石工に引き渡すのを翌日に控え、手直しをするからと庭に置かせる。彼は猟銃を手に取り、銃弾を込め、空に向けて一弾発射する。その音が大きく響く。梢に群れていた小鳥たちが驚いて飛び散る。厳しい彼の表情がその後の彼の行動を暗示している・・・と思われる。

美術史の教科書で数十年前に出会ったマイヨールの「地中海」がこんなに美しく映像に甦るとは！そしてこの「地中海」が日本にあるのです。岐阜県美術館が所蔵していると、今回初めて知りました。（松本益代）

●横浜スペイン協会のホームページが、より扱い易くなってリニューアルします。

皆様にご愛読頂いております、当協会のホームページが一層見やすくなってリニューアルオープン致しました。アクセス頂いたトップページから、スペイン語教室やスペインサロンなどご希望のページへ直接アクセス出来ます。定期的に目的のページをチェックされる方、新しい情報を求めてこのページ・あのページ。そんな皆様の要求に対して、ホームページ上の写真への直接クリックでお答えできるようになります。

リニューアルしたホームページに、どうぞお気軽にアクセスください。

<http://www.yokohama-spain.jp/>または、「**横浜スペイン協会**」で検索



●新サークル「ドン・キホーテを読む会」開設

世界文学最高峰、セルバンテスのドン・キホーテを原書で読む会です。プライベートのクラスで有志で読んでいましたがこの度 AIYES のサークルの一環として発足することになりました。講師は若く頭脳明晰、抜群の話好きスペイン人の Aingeru Aroz Rafael 氏で、講義はスペイン語。注釈が時に半ページを占める難解な文章がいかに面白いものであるかを魔法のごとく解き明かしてもらえ魅力的な講座です。熱意溢れる丁寧な講義で進むのは2～3ページの時あり。講師の口癖「これが読めればいかなるスペイン語の本も読める」。毎月第4水曜日10時20分～11時50分、かながわ県民サポートセンターで。読み始めて間もないので興味のある方は是非ご参加下さい。<問い合わせ 中村瑛子 メール eiconacam.4226@gmail.com>

*** 事務局からのお知らせ ***



* 新年親睦パーティーのお知らせ

新年に当たり親睦を兼ねたパーティーを以下の要領で開催いたします。興味のある方、参加してみたいと思っている方、積極的参加を歓迎いたします。

日時：2014年（平成26年）2月8日（土）PM13:30～PM17:00（受付開始13:00～）

場所：波止場会館 1階 多目的ホール 住所：横浜市中区海岸通1-1 Tel045(201)3842

会費：会員、一般2,000円 詳しくはAIYES通信新年号に同封のチラシかHPをご覧ください。

* 次回スペイン・サロン

日西交流400周年記念行事の掉尾を飾る講演として著名人の招請を考えております。

今年4月12日（土）に開催致します。詳しくは1月以降の当協会HPをご覧ください。

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より、表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	電話番号	会員サービス内容
レストランオーブ	横浜市西区高島2-5-10	045-441-4996	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	カサ・デ・フジモリ関内本店前	045-651-1074	サングリア1杯無料
カサ・デ・フジモリ目黒店	JR目黒（東京）徒歩5分	03-5420-5328	サングリア1杯無料
(有)フレア	鎌倉市大船2-17-8	0467-42-8531	押し花体験費用割引
日西商事（うさぎのいる島）	東京都港区台場2-2-1 ザ・クルーズ・ダイブ1F	03-5531-2151	生ビール一杯無料

<編集後記>経費削減をテーマに「手作り会報（AIYES通信）」は、何とか軌道に乗せることができましたのも、下山理事および各理事の努力により、目的を達成することが出来ました。これも、会員皆様のご理解とご協力によるものであります。なお、今後とも紙面の充実に専念いたします。（澤田真人）

編集委員 石井加奈弘 桜田ゆみ 澤田真人 下山利明 千葉博子 福長昭代 真木幸子 山崎宗城

*投稿寄稿宛先 〒247-0056 鎌倉市大船1709-18
横浜スペイン協会会報係 e-mail: aiyes_press@yokohama-spain.jp
横浜スペイン協会 URL <http://www.yokohama-spain.jp>

次回原稿締切は
2月10日(月)です。
投稿は800字以内、写真をお付け下さい